

造影MRI検査(腹部以外)のご案内

※別紙「MRI検査における注意事項」をお読みになってからご覧ください。

MR検査とは？

- 強い磁石と電波を使って、体の内部を撮影する方法です。この検査では、縦、横、斜めのあらゆる角度から体の断面の撮影をすることが出来ます。
- この検査装置の原理及び構造により、次のような方は、検査を受けられないことがありますので、必ず担当職員にお申し出下さい。
 - ①心臓ペースメーカーや刺激電極などを身につけている方
 - ②脳動脈クリップや人工関節などの金属が埋め込まれている方
 - ③妊娠、または妊娠している可能性のある方
 - ④閉所恐怖症など、狭いところの苦手な方



検査(前)

<食事>

●造影剤を使用する場合は、副作用による嘔吐の可能性があるので、原則的に午前の検査の方は朝食を、午後の検査の方は昼食を摂らないでください。

●水分制限はありません。

<お薬>

●現在服用中のお薬は、事前に主治医とご相談ください。

<服装>

●別紙「MRI検査における注意事項」をお読みください。



検査(中)

- 検査の台に上向きで寝て、円筒の中に入って頂きます。
- 検査にかかる時間は30分程度です。
- 検査中は「コンコン」と連続音が聞こえてきます。多少うるさく感じると思いますが、体を動かさないように、ご協力ください。
- 呼吸については、合図にあわせて息を止めていただく場合があります。

検査(後)

- 検査後は、食事、飲酒、お風呂などはふだん通りでかまいません。
(ほかの検査がある方は、そちらの検査の指示に従ってください)

MRI検査における注意事項

※MRIは強い磁場を利用して検査しますので、次の注意事項を守ってください。

1. 検査時間は30分程度要します。予約時間の30分前までにお越し下さい。
2. 次のような金属性の物は、磁力や画像に影響を与えますので、身に付けたり持ち込まないようにして下さい。

眼鏡・カギ・ネクタイピン・ヘアピン・ネックレス・イヤリング・ピアス・指輪・ベルト・安全ピン・クリップ・硬貨・入れ歯・金属付き下着・エレキバン・ホットカイロ類・カラーコンタクトレンズ・その他金属類全て

3. 次の物は、MR室へ持ち込むとその機能が失われます。上記2を含めてMR室へ持ち込まず、担当技師に申し出て下さい。

時計・キャッシュカード・クレジットカード・定期券・携帯電話機器・診察カード・その他磁気カード・万歩計・補聴器・その他精密機器類

4. ペースメーカー装着者の方は立ち入り禁止です。
5. 化粧品の中には、顔料として金属を含んでいるものがありますので落として下さい。
6. ブラジャー・ボディースーツ・コルセット・ガードルなどの下着類は脱いで下さい。
7. 義眼・歯科磁気インプラントは種類により、その機能を果たさなくなる場合がありますので、事前に申し出下さい。
8. 外科用クリップ・人工骨頭等の金属類を体内に埋め込んでいる方はスタッフ(医師・看護師・X線技師)に申し出て下さい。
9. 現在妊娠している方、または可能性のある方は、スタッフに申し出て下さい。

※この検査は放射線による被曝がなく、また痛みもなく人体に安全な検査です。

※狭いトンネルに入るので、途中で気分が悪くなったら合図をして下さい。

※検査中は、「コンコンコン」という大きな音が聞こえますが、異常ではありませんので、ご安心下さい。

※その他、わからない事があれば遠慮無くスタッフにお尋ね下さい。